

株式会社 夢真ホールディングス

[証券コード:2362]

第36期 株主通信

2013年10月1日～2014年9月30日

インタビュー 03

成長のための施策を 着実に推進

事業の概況と次期見通しについて 05

トピックス 06

本社を東京・丸の内に移転

連結財務諸表(要旨) 07

株式の状況 09

会社の概要/
IR伝言板 10



YumeShin



人と人とのめぐり合いでみんなの夢を真にする会社

当社の社名「夢真」には、読んで字のごとく、「夢を真（まこと）にする」という意味が込められています。人と人とは他人に思えても必ずどこかで繋がっています。人と人がめぐり合うことで道は開け、可能性は無限に広がっていきます。当社は、株主さま、お客さま、従業員、そして夢真グループにかかわるすべての方々の可能性を追求し、その夢を真にすることをミッションと考えています。



株主さまとともに

透明性のある企業経営を実践し、健全な成長・安定した還元に努めます。

従業員とともに

独自の研修プログラムで、ひとりひとりの成長を援助します。

お客さまとともに

必要な時に・必要な人数・必要な場所に・必要なスキルを持った人材を提供します。

社会とともに

新卒・若手の人材を積極的に採用し雇用の創造に努めます。

夢真ホールディングスグループの事業領域



YumeShin

株式会社夢真ホールディングス
建築技術者派遣事業



YUME
Technology

(株)夢テクノロジー
エンジニア派遣事業



(株)我喜大笑
子育て支援事業
医療介護支援事業

増え続ける建設工事 求められているのは若いエネルギー 私達の使命はその供給源となること



第36期(2013年10月1日から2014年9月30日まで)の株主通信をお届けするにあたり、ご挨拶を申し上げます。

建設業界では、本格化する東北の復興需要や2020年開催予定の東京オリンピック・パラリンピック関連工事など、特需としての建設投資が顕在化してきました。また、今後の全国的なインフラ整備工事や都市圏への人口流入などによる再開発やマンション着工など、2020年以降も堅調な建設投資が続くものと想定されます。

そうした中で当社は、建築技術者派遣事業に経営資源を集中させています。建築技術者の新人採用に注力し、2014年9月期は1,600名を上回る採用実績を上げることができました。引き続き採用活動に注力し、年間1,600名以上の採用を継続してまいります。

当社は、2014年11月に本社を東京都千代田区丸の内に移転しました。建築技術者派遣事業の拡大によって

これまでの本社スペースが手狭になったことに加え、ビジネスの中心地と言われる丸の内に本社を構えることで、日本中から夢を持った若い人が数多く集まってくれることを期待しています。

次々と新技術が開発され、目まぐるしく状況が変化している建設業界は、一方で、次世代を担う若い人材が育っていないという問題を抱えています。日本の建設業界に若い人材を送り出すとともに、夢の実現に向けて若い人の背中を押すことで、建設業界の発展に貢献してまいります。

株主の皆様におかれましては、一層のご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2014年12月

代表取締役会長兼社長

佐藤 真吾

佐藤取締役に、第36期(2014年9月期)の業績と今後の方針についてお聞きしました。



取締役 社長室室長 佐藤 大央

Q まずは、2014年9月期の業績についてお教えください。

2014年9月期の業績は、売上高16,482百万円(前期比31.5%増)、営業利益1,857百万円(同51.0%増)、経常利益2,951百万円(同66.7%増)、当期純利益2,246百万円(同61.8%増)となりました。増収増益のうえ、3年連続の最高益を達成することができました。現在推進中の中期経営計画に対して、売上高では目標に届きませんでしたでしたが、当期純利益は目標に到達することができました。

建設業界では、政府建設投資が高水準を維持していることに加え、民間設備投資も増加基調が続いており、特に、首都圏での需要の回復は顕著となっています。一方で、このような市場環境に対し、ゼネコン各社が抱える施工管理者や職人の「高齢化」、「若手不足」は深刻さを増しており、全国的に建設就業者が不足する事態が生じています。当社が展開する建築技術者派遣事業は、若手の建築技術者を建築の現場に派遣し、この事態の緩和に貢献しています。

Q 中期経営計画2年目の成果についてお聞かせください。

建設業界で発生している人材不足に対して正面から向き合うことで成長を目指す当社は、建築技術者派遣事業に当社グループの経営資源を集中投下し、同事業の大幅な拡大に取り組んでいます。現在推進中の5カ年中期経営計画は、そのための指針として当社が掲げた、飛躍的な成長のための経営戦略であり、その中核となるのが、人材の採用です。計画当初は技術者採用計画を毎年800名としていましたが、人材採用のスキームやインフラの構築を進めたことで、採用人員1,600名という、まさに飛躍的な目標を立てることが可能となりました。2014年9月期は、企業業績全般に回復基調を辿り雇用情勢も好転する中で、当社の採用活動においては、一層のスキルアップと効率化を追求しながら新人建築技術者の採用に徹底的に注力し、目標である1,600名を超える1,628名を採用することができました。さらなる成長の礎になるとともに、今後の採用活動に対する自信にもつながっています。

Q 2015年9月期の事業戦略はいかがでしょうか。

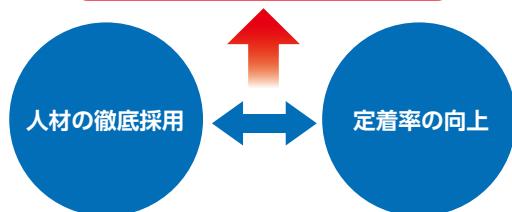
引き続き飛躍的な成長拡大を目指し、建築技術者の採用に注力します。採用の環境は、2014年9月期同様、厳しい状況が続くと想定されますが、ここまで培ってきた採用のノウハウを最大限に生かし、1,600名以上の採用に向けて取り組んでまいります。文系の新卒や未経験者に幅広く門戸を開くとともに、女性技術者の採用にも注力します。建築の現場に女性技術者の導入を進めてきた当社は、さらにこの流れを加速させ、毎月20名から30名の採用を目指します。

営業面では、派遣単価の引き上げ交渉を継続します。当社の強みの一つは、現場に密着した営業力にあります。現場のニーズに応え、収益力の向上を進めます。

Q その他の重点施策はありますか。

技術者派遣の旺盛なニーズを確実に取り込むためには、積極的な人材採用に加えて、技術者在籍人員の拡大が必要不可欠です。在籍技術者5,000名体制を目指して、定着率の改善に取り組めます。採用直後の充実した研修制度によって基礎知識を習得させ、未経験者の現場派遣への不安解消に努めるとともに、初現場へ派遣後は、1ヵ月間毎週ヒアリングを行うことで、新人技術者の悩みや問題を会社として早期に把握し、現場の入れ替えなどきめ細かなフォローを実施します。そのための専門部隊も立ち上げます。さらに、入社3ヵ月、6ヵ月、1年と研修を行い、建築の現場で必要とされるスキルを定期的に習得させることで、意欲の向上を促します。在籍2年目以降は、技術者の評価制度を細分化し、知識やスキルの習得がより給料に反映する仕組みを構築します。

技術者数5,000名体制の構築



主な施策

- ・毎年1,600名以上の新人技術者の採用
- ・採用プロセスの一元管理による採用力の向上
- ・採用媒体の有効活用
- ・採用特化型施設「夢探索カフェ」の全国展開
- ・東京丸の内への本社移転

主な施策

- ・入社後の研修(基礎知識、ビジネス・マナー等)
- ・新人フォロー・アップのための専門部隊の設置
- ・入社1年目の徹底フォロー
- ・定期的なフォロー・アップ研修の実施
- ・生産性向上に応じた昇給

成長のための重要施策

Q 新しい取組みについてお聞かせください。

創業80年以上の歴史をもつ総合建設会社の株式会社岩本組を、2014年8月に子会社化しました。同社の高い技術力が、今後の当社の飛躍的な成長に寄与すると判断し、株式を取得しました。当社技術者に対し、同社の技能職(職人)による研修を継続して実施し、技術者のスキルアップによる生産性の向上を図ります。また、将来的には、当社の採用力とのシナジーによって、国内外の若い人材を職人として採用して建設業界に供給する「職人育成ビジネス」への参入も検討しています。

Q 株主様へのメッセージをお願いします。

私は、2010年より当社の取締役役に就き、現在は社長室室長として、グループ全体の業務の推進と部門間の調整に携わっています。それゆえに社内のあらゆる部署の社員と接する機会が多く、社内の雰囲気を感じながら業務を進めています。当社の建築技術者派遣事業では、社員一同、建設業界の要請に応えるべく高いモチベーションを持って業務に取り組んでいます。会社としてその社員のモチベーションを生かす組織づくりを進め、また、社員の期待に応えていくことが企業価値の向上につながるものと考えています。

株主の皆様におかれましては、ますますのご支援を賜われますようお願い申し上げます。

インタビュー紹介



平野 憲一 プロフィール

株式マーケットアナリストとして日本経済新聞等の新聞・雑誌のほか、テレビ、ラジオなどで相場を解説。国内外の投資家の支持を集める人気アナリスト。日本アナリスト協会検定会員。ケイ・アセット代表。

事業の概況と次期見通しについて

ハイライト

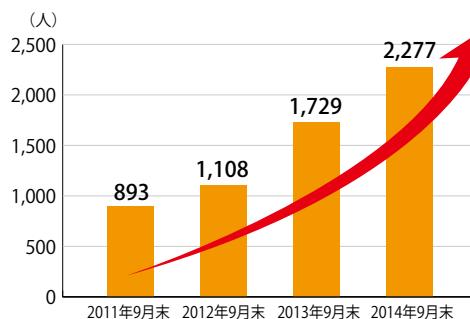
- 3年連続最高益を達成 → 売上高前期比31.5%増収・経常利益前期比66.7%増益
- 派遣単価の回復および販管費の適正化 → 営業利益51.0%増益・営業利益率11.3%
- 建築技術者の年間採用計画を達成、実績1,628名（計画1,600名）
→ 来期以降への業績寄与へ

事業の概況

当社は、中核事業である「建築技術者派遣事業」を成長事業として重点的に取り組む戦略をとっています。2014年9月期は、建設業界の深刻な人手不足を受け、年間1,600名採用を掲げ採用活動に注力してまいりました。結果、計画を上回る採用人数となり、技術者数は2014年9月末時点で2,277名となりました（前年同月末1,729名）。

売上高につきましては、積極採用による稼働人数の増加により「建築技術者派遣事業」の売上高が大きく伸びたことで、前年同期比31.5%の増収となりました。営業利益につきましては、派遣単価の継続的な改善による売上総利益率の上昇、さらに積極的な採用活動や技術者増員による採用費および人件費増加をこなし、販管費率が低下したことで、営業利益率が1.5ポイント改善し、前期比51.0%の増益となりました。

■在籍技術者数の推移



技術者数
5,000名へ

次期の見通し

「建築技術者派遣事業」について、引き続き採用活動に注力し、年間1,600名採用を計画しています。また、営業部門の効率化を図り、既存顧客との安定的な取引の継続および新規開拓を進めてまいります。さらに、一定の経験を積んだミドル層の技術者については、現状の需給環境を考慮し派遣価格の見直しを進めることで、さらなる売上増加に努めてまいります。2015年9月期の通期連結業績は、売上高22,500～25,500百万円、当期純利益2,250～3,200百万円を見込んでいます。また、配当性向についても、引き続き100%の株主還元を目指してまいります。

本社を東京・丸の内に移転

2014年11月、本社を東京都文京区大塚から千代田区丸の内に移転しました。丸の内は日本のビジネスや金融の中心地として多くの人が集まってきます。当社が展開する事業は、人がすべてのビジネスです。志を秘めた若者が一人でも多く当社を訪れてくれることを望み、また当社に集う人たちが、新しい刺激を受けて一段と輝く姿を期待し、新たな環境を取り入れることとしました。



機能的でスタイリッシュな
エントランス



打ち合わせや面接で使用する、
明るいミーティング・スペース



本社が入る丸の内永楽ビルディングは、地下鉄大手町駅と直結し、
また JR 東京駅とも地下道でつながる交通至便な立地に位置します

定着率の向上に努め、在籍技術者の拡大を目指す当社は、基礎知識やスキルアップのための新人研修を、新本社の快適な環境で実施しています。

技術者としての第一歩を踏み出す
ための、少数精鋭型の研修を展開



総合建設会社の株式会社岩本組を子会社化

2014年8月、創業80年以上の歴史をもつ株式会社岩本組（東京都北区田端：資本金20百万円）を子会社化しました。同社は、高級住宅や伝統建築の分野で高い評価を受けていますが、2014年5月末に再生手続開始申立を行いました。その建設事業部分を会社分割によって新設分割設立会社に承継し、その新会社を子会社化しました。岩本組の有能な技能職（職人）によって当社技術者のスキルアップを図るとともに、当社の採用力を生かして、建設業界に職人を供給するビジネスへの参入を予定しています。

連結財務諸表 (要旨)

連結貸借対照表

(単位:千円)

区 分	当 期 2014年9月30日現在	前 期 2013年9月30日現在
【資産の部】		
流動資産	8,855,812	6,457,474
固定資産	3,950,202	3,458,082
有形固定資産	1,946,169	1,465,230
無形固定資産	415,991	552,963
投資その他の資産	1,588,041	1,439,888
資産合計	12,806,014	9,915,557
【負債の部】		
流動負債	3,592,543	2,455,366
固定負債	1,306,952	2,082,146
負債合計	4,899,496	4,537,513
【純資産の部】		
株主資本	7,436,548	5,042,237
その他の包括利益累計額	△ 60,902	△ 45,912
新株予約権	12,554	5,518
少数株主持分	518,318	376,199
純資産合計	7,906,518	5,378,043
負債純資産合計	12,806,014	9,915,557

ポイント解説

資産

総資産の残高は、前期末に比べて2,890百万円増加し、12,806百万円となりました。これは主に現金及び預金の増加1,509百万円、受取手形及び売掛金の増加663百万円、建物及び構築物の増加195百万円、土地の増加285百万円等によるものです。

純資産

純資産の残高は、前期末に比べて2,528百万円増加し、7,906百万円となりました。これは主に資本剰余金の増加1,597百万円、当期純利益2,246百万円、剰余金の配当による減少1,727百万円等によるものです。

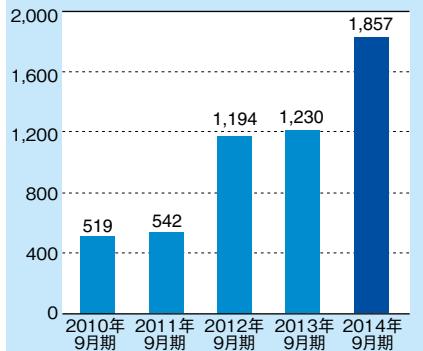
売上高

(単位:百万円)



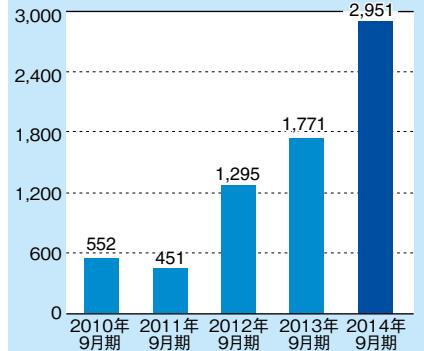
営業利益

(単位:百万円)



経常利益

(単位:百万円)



連結損益計算書

(単位:千円)

区 分	当 期	前 期
	自 2013年10月 1日 至 2014年 9月30日	自 2012年10月 1日 至 2013年 9月30日
売上高	16,482,282	12,537,592
売上原価	11,899,643	9,087,658
売上総利益	4,582,639	3,449,933
販売費及び一般管理費	2,725,546	2,219,896
営業利益	1,857,093	1,230,036
営業外収益	1,378,663	648,438
営業外費用	284,041	107,333
経常利益	2,951,714	1,771,141
特別利益	500,022	266,380
特別損失	18,130	41,746
税金等調整前当期純利益	3,433,607	1,995,775
法人税等	1,093,020	535,829
少数株主損益調整前当期純利益	2,340,586	1,459,946
少数株主利益	94,545	71,406
当期純利益	2,246,041	1,388,540

ポイント解説

売上高

技術者の積極採用による稼働人数の増加により、建築技術者派遣事業の売上高が大きく伸びたことで、売上高は前期比31.5%の増収となりました。

営業利益

営業利益は、派遣単価の継続的な改善による売上総利益率の上昇、さらに積極的な採用活動による採用費および人件費の増加をこなしながらも販管費率を低下させたことで、営業利益率が1.5ポイント改善し、前期比51.0%の増益となりました。

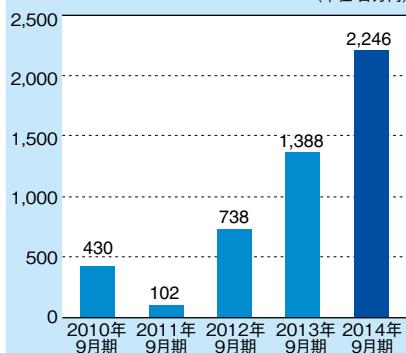
連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

区 分	当 期	前 期
	自 2013年10月 1日 至 2014年 9月30日	自 2012年10月 1日 至 2013年 9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,659,147	793,647
投資活動によるキャッシュ・フロー	620,054	180,596
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 733,772	595,723
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 2,118	2,222
現金及び現金同等物の期末残高	5,764,869	4,221,558

当期純利益

(単位:百万円)



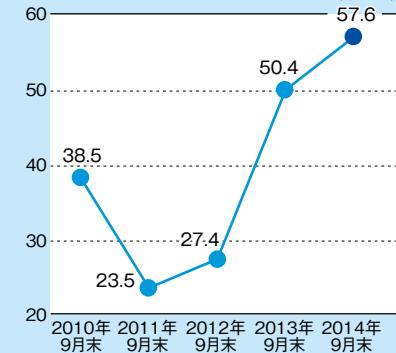
総資産／純資産

(単位:百万円)



自己資本比率

(単位:%)



■ 発行可能株式総数	160,000,000株
■ 発行済株式総数	74,573,440株
■ 株主数	19,021名

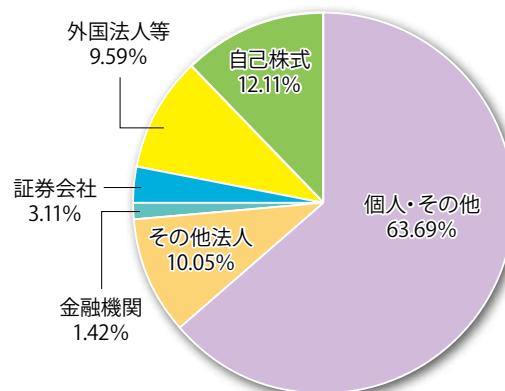
■ 大株主の状況

株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	持株比率(%)
佐藤 眞吾	24,385	32.70
有限会社佐藤総合企画	7,344	9.85
佐藤 淑子	2,228	2.99
深井 英樹	880	1.18
UBS SECURITIES LLC - HFS CUSTOMER SEGREGATED ACCOUNT	857	1.15
MSCO CUSTOMER SECURITIES	832	1.12
立花証券株式会社	649	0.87
CREDIT SUISSE SECURITIES (USA) LLC SPCL. FOR EXCL. BEN	562	0.75
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	551	0.74
崎山 佳香	535	0.72

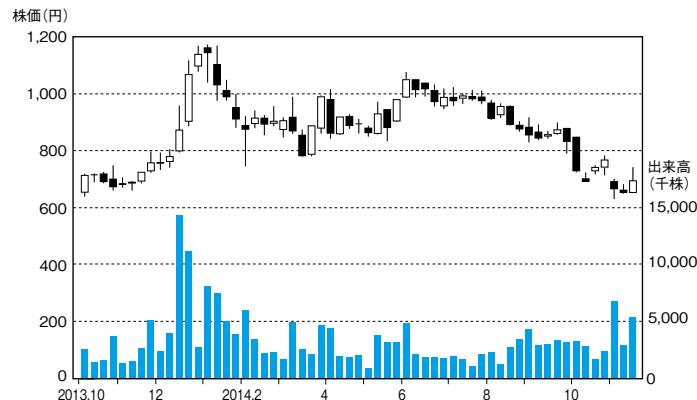
(注) 上記のほか、自己株式が9,032千株(発行済株式総数の12.11%)あります。

■ 株主分布状況

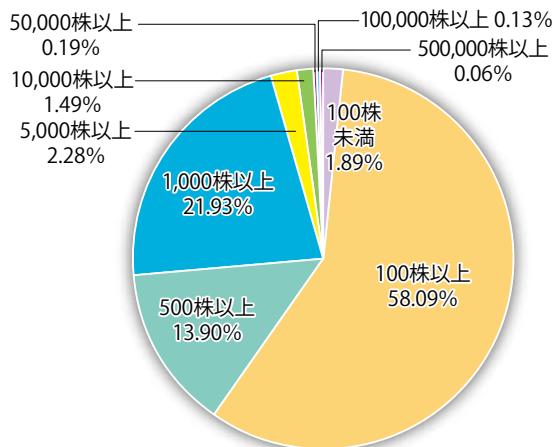
所有者別分布状況(株式数比率)



■ 株価の推移



所有株数別分布状況(株主数比率)



社名	株式会社 夢真ホールディングス	上場証券取引所	東京証券取引所 (JASDAQスタンダード市場)
本社	東京都千代田区丸の内1-4-1 丸の内永楽ビルディング22F (2014年11月4日より)	証券コード	2362
設立	1980年1月	役員	
代表者	佐藤 真吾	代表取締役会長兼社長	佐藤 真吾
資本金	8億514万円	専務取締役	大原 智彦
従業員数	連：3,316名、単：2,376名	取締役	佐藤 大央
事業内容	建築技術者派遣事業 エンジニア派遣事業 子育て支援事業 医療介護支援事業	常勤監査役	高橋 宏文
		監査役	松本 幸夫
		監査役	六川 浩明

IR伝言板

2014年6月以降に実施した投資家様向けIRイベントや説明会です。

2014年8月29～30日 日経IRフェア2014に参加

東京ビッグサイトで開催された「日経IRフェア2014」に本年も出展いたしました。展示ブース、会社説明会ともに、多くの投資家の方々にご参加いただき大盛況となりました。こうしたIRイベントを活用して、より多くの皆様に当社の事業展開をご理解いただけるよう努めてまいります。



大盛況の会社説明会



熱気あふれる当社ブース

- 2014年 6 月 10日 ロンドンカンファレンス (英国、機関投資家向け)
- 2014年 6 月 21日 東京IPO IRセミナー 2014 (大阪)
- 2014年 8 月 21日 ラジオNIKKEI「投資知識研究所」出演
- 2014年 8 月 28日 個人投資家向け説明会 (東京)
- 2014年 9 月 12日 個人投資家向け説明会 (東京、大阪)
- 2014年 9 月 17日 個人投資家向け説明会 (東京)
- 2014年9月24日～25日 アジアIRロードショー (機関投資家向け)
- 2014年 9 月 25日 個人投資家向け説明会 (熊本)
- 2014年 9 月 26日 個人投資家向け説明会 (福岡)
- 2014年9月29日～10月3日 米国IRロードショー (機関投資家向け)
- 2014年10月13日～16日 欧州IRロードショー (機関投資家向け)
- 2014年10月22日～24日 米国IRロードショー (機関投資家向け)
- 2014年11月 5 日 韓国IRロードショー (機関投資家向け)
- 2014年11月13日 2014年9月期 通期 決算説明会
- 2014年11月19日 東京IPO IRセミナー 2014 (東京)
- 2014年11月21日～22日 ジャパン・カンファレンス2014 (英国、機関投資家向け)
- 2014年11月23日～24日 欧州IRロードショー (機関投資家向け)

ホームページのご紹介



当社ホームページの「株主・投資家情報」では、過去の決算短信などのIR情報を見ることができます。

新卒・中途採用強化の一環として「採用ページ」の充実を常に図っています。

ホームページ
<http://www.yumeshin.co.jp/>

株主メモ

事業年度	毎年10月1日から翌年9月30日
定時株主総会	毎年10月1日から3か月以内に開催
基準日	定時株主総会：毎年9月30日 期末配当金：毎年9月30日 中間配当金：毎年3月31日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
単元株式数	100株
証券コード	2362

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社にてお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先 (通話料無料)	フリーダイヤル 0120-782-031
公告の方法	当社のホームページに掲載します。(http://www.yumeshin.co.jp/)ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは日本経済新聞に掲載します。

株式会社夢真ホールディングス

〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-4-1 丸の内永楽ビルディング22F

R70

古紙配合率70%の再生紙を使用しています

VEGETABLE
 IL INK